

## 探究学習のポイント Part-1

# 構造的 理解 と 深層 理解

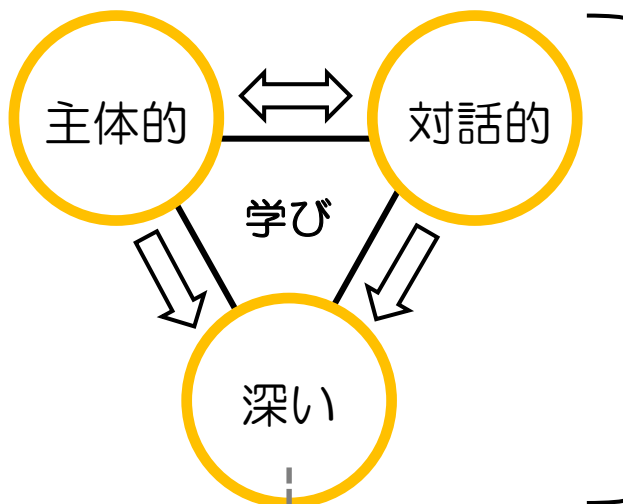
シンプルに

的確に

観光甲子園のコンテストに応募される高等学校教職員のみなさまに向けて探究学習のポイントを解説する全3回のレポートです。指導・サポートの参考資料としてご活用ください。

## 主体的・対話的で深い学び

探究学習プログラムの『観光甲子園』を通じて高校生が獲得すべきことを「**構造的**理解と**深層**理解」としました。次代を担う若者層に世の中の仕組みを構造的に理解し目に見えない背景を考える機会としていただくためです。まずは「**主体的・対話的で深い学び**」という新学習指導要領に記された言葉を読み解いてみましょう。

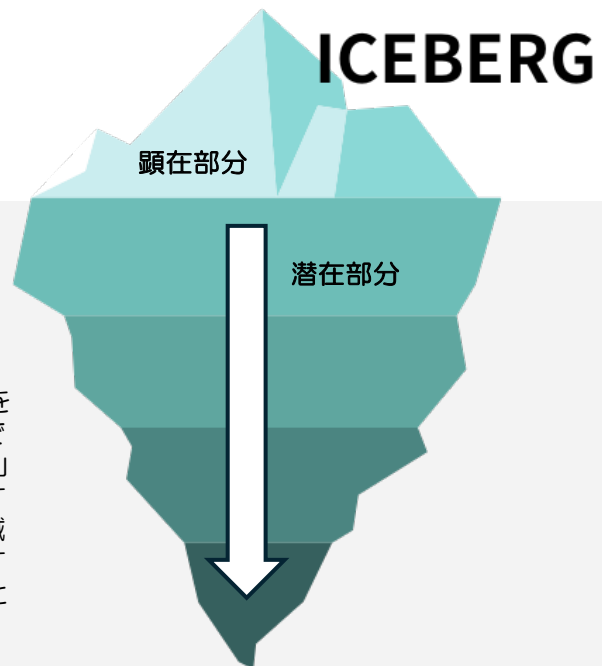


### 構造的 理解

左図は「**3角思考**」という3つのキーワードを構造的にとらえる手法で、対比的な上部の2要素とそれらを受け止める下部の1要素を逆三角形で捉えたものです。自ら能動的に行う**主体性**と他者との関係性が生まれる**対話**の双方向バランスから生まれる学びが「**深い**」という構造を見て取ることができます。

### 深層 理解

右図は「**冰山モデル**」と呼ばれるマーケティング理論を示した図で、ものごとの全体像を氷山にたとえる考え方です。私たちが目にする**できごと**は海面上に突き出た氷山の一角に過ぎず、海面下に様々な要素が構造的に存在するという思考のフレームワークです。観光甲子園は地域課題を解決する事業を構想していただきますが、顕在する事象と因果関係を持つ潜在的要素の**深層理解**が重要と考えています。



# 3つのチカラで頂点を目指す 構造的理解

今期コンテストの昨年度までとの大きな変更点は年間を**3つのフェーズ**に分け、そこで行う作業を明確化したことです。各フェーズの獲得目標は「取材力」「構想力」「伝達力」となり、時系列で段階的な探究活動を重ねることでコンテストの**構造化**を行いました。



地域探究部門

空飛ぶクルマ部門

フェーズ①で目指す「取材力」とは、提案プランの概略を仮決定した段階で事業構想に向けて多様な情報を集めて分析する作業（＝**深層理解**）です。取材活動には以下の**4つのアクセス**が考えられます。

## 深層理解

### 1) 書籍にアクセス

何でもネットワーク検索で調べることができる今、書籍に触れる機会が激減していますが、書籍とは様々な分野の専門家が重ねた探究活動の成果と言えるものです。

- <レポートのポイント>
- どんな書籍を読んだか？
  - 具体的に着目した内容は何か？
  - そこで得た事業構想に向けたヒントは何か？

### 2) オンライン情報にアクセス

オンラインで収集すべきは旬の情報や統計データなど書籍化が難しいデータや専門機関の調査報告書など。どのような情報を探り出せたかも探究活動の成果です。

- <レポートのポイント>
- どんな情報入手したか？
  - 具体的に着目した内容は何か？
  - そこで得た事業構想に向けたヒントは何か？

### 3) 現場にアクセス

1)と2)が**主体的**に行う「机上の情報収集」であるのに対して「地上の情報収集」といえるのが足を使った関係各所への取材活動です。

- <レポートのポイント>
- どんな場所を訪問したか？
  - 現地で見聞した内容は何か？
  - そこで得た事業構想に向けたヒントは何か？

### 4) キーマンにアクセス

3)の活動の中でも訪問先の担当者や専門家、有識者へのインタビューを重ねる取材活動は**対話的**な学びとして貴重な機会になります。

- <レポートのポイント>
- どんな方に出会ったか？
  - そこで何をインタビューしたか？
  - そこで得た事業構想に向けたヒントは何か？

★ 6月1日に公開するフェーズ①の所定フォームはこれらの項目を整理するものになります